

FT-施要-09004-C

2026年4月1日

区画貫通部防火措置キット

「プチロクワイド」

「プチロクワイド消防キット」

施工要領書

古河電工パワーシステムズ株式会社

株式会社古河テクノマテリアル

1. 製品概要

本製品は、ケーブル・合成樹脂製可とう電線管(PF・CD管)などが、建築物内の防火区画・共用区画(壁・床)を貫通する場合の防火措置に必要な部材をキット化したものです。

2. 性能

2.1 国土交通大臣認定

本製品は、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ「防火区画貫通部 1 時間遮炎性能」の規定に適合するものとして、国土交通大臣認定(認定番号: PS060WL-0367、0368、PS060FL-0510)を取得しています(表-1・表-2)。

表-1 国土交通大臣認定番号および貫通する壁・床の構造

国土交通大臣認定番号	部位	構造	厚さ	開口形状	開口寸法(mm)	占積率
PS060WL-0367	壁	<ul style="list-style-type: none"> ・準耐火構造(60分) (ただし両面強化せっこうボード重張に限る) ・耐火構造(60分) ・鉄筋コンクリート造 ・ALC パネル(軽量気泡コンクリート) ※中空壁等で片側施工の場合、開口補強枠(厚さ 0.25mm 以上)が必要	80mm 以上	円形	φ 110 以下	44.0% 以下
PS060WL-0368		<ul style="list-style-type: none"> ・準耐火構造(60分) (ただし両面強化せっこうボード重張に限る) ・耐火構造(60分) ・鉄筋コンクリート造 ・ALC パネル(軽量気泡コンクリート) ※全ての構造において、鋼製電線管(長さ 300mm 以上)および両側施工が必要			φ 113.4 以下 (鋼製電線管呼び径 G104 以下)	45.2% 以下
PS060FL-0510	床	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造 ・ALC パネル (軽量気泡コンクリート) 	100mm 以上	円形	φ 159 以下	35.4% 以下

表-2 適用貫通物一覧

国土交通大臣認定番号		PS060WL-0367	PS060WL-0368	PS060FL-0510
施工条件	施工に必要なキット数	1 組(片側施工) もしくは 2 組(両側施工)	2 組(両側施工)	1 組(床上施工)
	開口補強枠(鋼製スリーブ) (板厚 ≥ 0.25mm)	片側施工: 必要 両側施工: 不要	不要 ※ただし鋼製電線管 (長さ 300mm 以上)が必要	不要
適用貫通物	1 心あたりのケーブル 最大導体断面積(mm ²)	150 (6600V)	250 (6600V)	325 (6600V)
	合成樹脂製可とう電線管 最大サイズ(mm)	PF 管: 外径 36.5(呼び径 28) CD 管: 貫通不可		PF 管: 外径 45.5(呼び径 36) CD 管: 外径 34(呼び径 28)
	貫通方法	ケーブルと合成樹脂製可とう電線管の混在貫通可能		

2.2 (一財)日本消防設備安全センター評定(共住区画)

本製品は、「特定共同住宅等の住戸等の床または壁並びに当該住戸等の床、または壁を貫通する配管等及びそれらの貫通部が一体として有すべき耐火性能を定める件」(平成 17 年消防庁告示第 4 号)に規定された耐火性能を有しているものとして、(一財)日本消防設備安全センター評定(評定番号:KK23-003 号、KK23-008 号、KK24-001 号)を取得しています(表-3～表-5)。

表-3 (一財)日本消防設備安全センター評定(共住区画)の適用範囲

項目		仕様				
(一財)日本消防設備安全センター評定番号		KK24-001 号		KK23-008 号		KK23-003 号
適用部位		壁			床	
開口部	形状	円形				
	寸法	φ 110mm 以下			φ 159mm 以下	
貫通する部位の構造等	構造	鉄筋 コンクリート	ALC パネル	中空壁	鉄筋 コンクリート	ALC パネル
	厚さ	100mm 以上				

注: 共住区画に適用の場合は、(一財)日本消防設備安全センター評定(共住区画)の適用範囲に従ってください。

表-4 (一財)日本消防設備安全センター評定(共住区画・壁)の適用貫通物ほか

(一財)日本消防設備安全センター評定番号		KK24-001 号	KK23-008 号
(国土交通大臣認定番号)		(PS060WL-0545)	
適用躯体 (共住区画の壁)		鉄筋コンクリート壁・ 軽量気泡コンクリート(ALC)壁	中空壁
		厚さ 100mm 以上	
施工条件	開口径(mm)	φ 110 以下	
	施工に必要なキット数	1 組(片側施工)	
	開口補強枠(鋼製スリーブ) (板厚≥0.25mm)	不要	必要
貫通物条件※	貫通物の適用種類 および 貫通本数 (1 開口あたり)	PWS-75 の場合 (開口径 φ 80mm)	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F38mm²以下 1 本以下 ・600V CET/F100mm²以下 1 条以下 ・光ケーブル 3 本以下 ・PF管呼び径 14・外径 21.5mm 以下 1 本以下 (管内:600VCE/F 1×22mm²以下 1 本以下)
	PWS-100 の場合 (開口径 φ 110mm)	<ul style="list-style-type: none"> ・600V CE/F3×14mm²以下 1 本以下 ・6600V CET/F150mm²以下 1 条以下 ・光ケーブル 3 本以下 ・PF管呼び径 28・外径 36.5mm 以下 1 本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 2 本以下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F38mm²以下 1 本以下 ・PF管呼び径 22・外径 30.5mm 以下 1 本以下 (管内:600VCE/F 1×22mm²以下 1 本以下) ・PF管呼び径 16・外径 23mm 以下 2 本以下 (管内:600VCE/F 1×22mm²以下 1 本以下)
	PWS-125・150 の場合	評定・認定外のため施工不可	

※ さまざまな施工条件を考慮し、最大貫通サイズ及び本数で取得しています。

実際の施工につきましては、各品番の樹脂スリーブ有効措置径内に収まるようにしてください。

表-5 (一財)日本消防設備安全センター評定(共住区画・床)の適用貫通物ほか

(一財)日本消防設備安全センター評定番号		KK23-003号		
(国土交通大臣認定番号)		(PS060FL-0510)		
適用躯体 (共住区画の床)		鉄筋コンクリート・軽量気泡コンクリート(ALC)		
		厚さ100mm以上		
施工条件	開口径(mm)	φ159以下		
	施工に必要なキット数	1組(床上施工)		
	開口補強枠(鋼製スリーブ) (板厚≥0.25mm)	不要		
貫通物条件※	貫通物の適用種類および通線本数(1開口あたり)	PWS-75の場合 (開口径φ80mm)	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F38mm²以下 1本以下 ・600V CET/F100mm²以下 1条以下 ・光ケーブル ×3本以下 ・PF管呼び径14・外径21.5mm以下 1本以下 (管内:600VCE/F 1×22mm²以下 1本以下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F38mm²以下 1本以下 ・PF管呼び径22・外径30.5mm以下 1本以下 (管内:600VCE/F 1×22mm²以下 1本以下) ・PF管呼び径16・外径23mm以下 2本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 1本以下)
		PWS-100の場合 (開口径φ110mm)	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F38mm²以下 1本以下 ・6600V CET/F150mm²以下 1条以下 ・光ケーブル 2本以下 ・PF管呼び径22・外径30.5mm以下 1本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 1本以下) ・CD管呼び径16・外径21mm以下 1本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 1本以下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F38mm²以下 1本以下 ・PF管呼び径28・外径36.5mm以下 3本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 2本以下)
		PWS-125の場合 (開口径φ131mm)	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F60mm²以下 1本以下 ・6600V CET/F250mm²以下 1条以下 ・PF管呼び径22・外径30.5mm以下 2本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 1本以下) ・CD管呼び径14・外径9mm以下 1本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 1本以下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F60mm²以下 1本以下 ・PF管呼び径28・外径36.5mm以下 4本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 2本以下) ・CD管呼び径16・外径21mm以下 1本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 1本以下)
		PWS-150の場合 (開口径φ159mm)	<ul style="list-style-type: none"> ・600V IE/F60mm²以下 1本以下 ・600V CE/F3×22mm²以下 1本以下 ・6600V CET/F250mm²以下 1条以下 ・光ケーブル×13本以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・PF管呼び径36・外径45.5mm以下 1本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 3本以下) ・CD管呼び径28・外径34mm以下 1本以下 (管内: 600VCE/F 1×22mm²以下 2本以下)

※ さまざまな施工条件を考慮し、最大貫通サイズ及び本数で取得しています。
実際の施工につきましては、各品番の樹脂スリーブ有効措置径内に収まるようにしてください。

3. 標準施工図

本製品の標準施工図を図-1～図-9に示します。

4. 品番および構成材料

本製品の品番および構成材料を表-6 に示します。また、各構成材料の仕様を図-10～図-12 に示します。

表-6 品番および構成材料

品番		適用対象			キット構成部材*				梱包数	販売単位
		壁	床	開口径 (mm)	鋼製化粧蓋付樹脂スリーブ	ダンシール-P	アルミガラスクロステープ	固定ねじ		
プチロクワイド	PW-75	○	○	φ 80	2 個	3 枚/袋	-	-	1 組	1 組
	PW-100	○	○	φ 110		4 枚/袋				
	PW-125	-	○	φ 135		6 枚 (3 枚/袋×2)				
	PW-150	-	○	φ 159		8 枚 (4 枚/袋×2)				
プチロクワイド消防キット	PWS-75	○	○	φ 80	8 枚 (4 枚/袋×2)	1 枚 (50×190mm)	2 本	1 組	1 組	
	PWS-100	○	○	φ 110	17 枚 (3枚袋×3袋, 4枚袋×2)	1 枚 (50×310mm)				
	PWS-125	-	○	φ 135	16 枚 (3枚袋×4, 4枚袋×1)	-				
	PWS-150	-	○	φ 159	22 枚 (3枚袋×2, 4枚袋×4)					

※ 工法表示ラベルと取扱説明書(兼(一財)日本消防設備安全センター評価プレート請求書(プチロクワイド消防キットの場合のみ))が付属します。

5. 施工手順

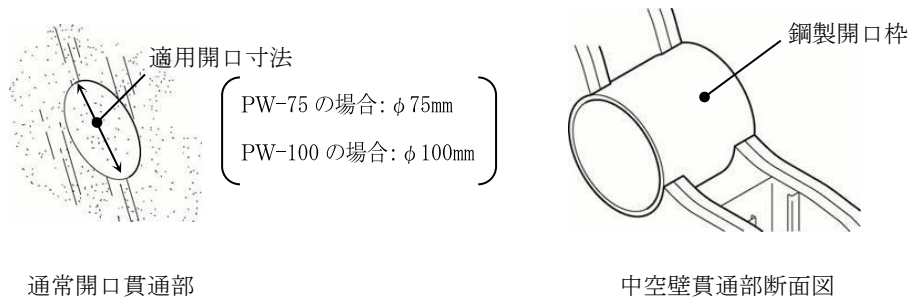
本製品の施工手順を以下に示します。

5.1 プチロクワイド・壁貫通部

片側施工の場合

(1) 施工前の確認

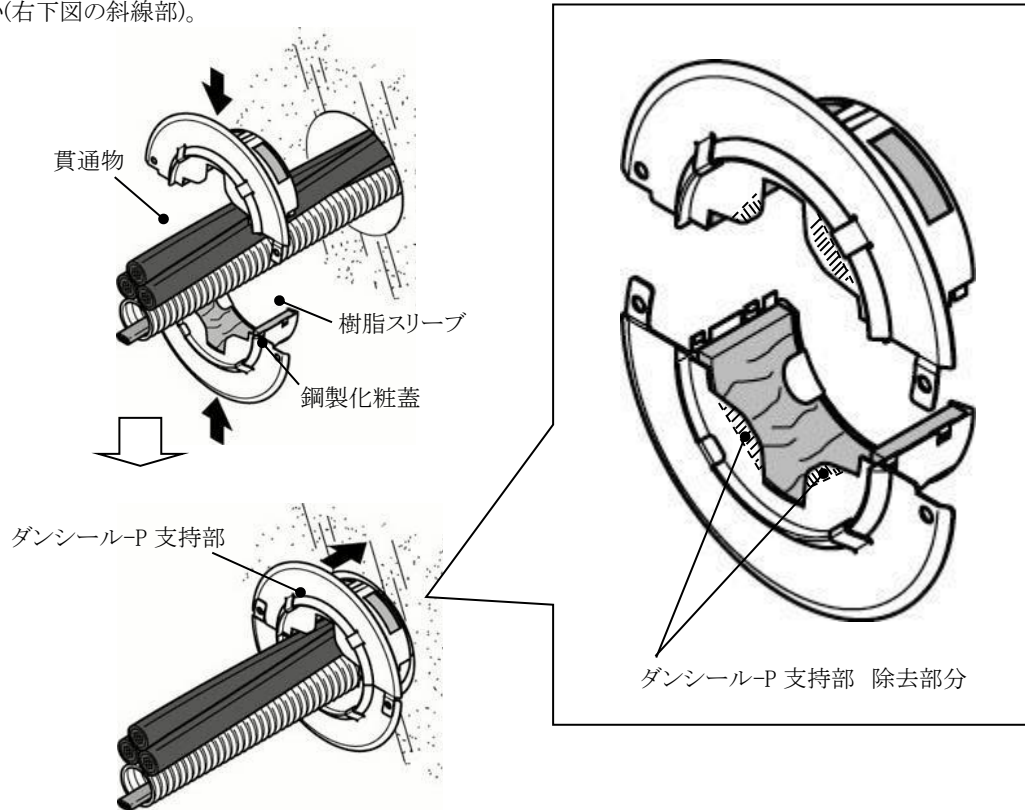
開口が認定条件に適合した開口寸法通りであることを確認してください。特に、中空間仕切壁に施工する場合には、必ず図のように開口補強枠(鋼製スリーブ:板厚 $\geq 0.25\text{mm}$)を設置してください。



(2) 鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの設置

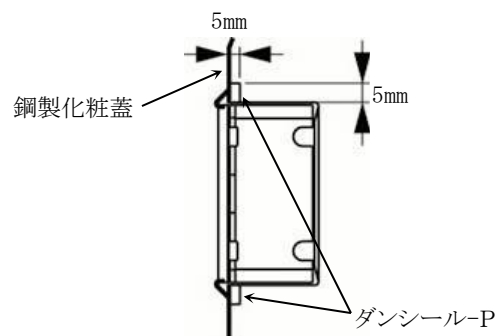
鋼製化粧蓋付樹脂スリーブを、貫通物に挟んではめ合わせ開口へ挿入してください。

このとき、貫通物量に応じて、樹脂スリーブ内側のダンシール-P 支持部をペンチなどで取り除いてください(右下図の斜線部)。



なお、下表の開口寸法に設置する場合、必ず右下図に示す位置にダンシール-Pを取り付けてください。

品番	設置開口寸法(mm)
PW-75	77.5～80
PW-100	105～110



鋼製化粧蓋付樹脂スリーブ断面図

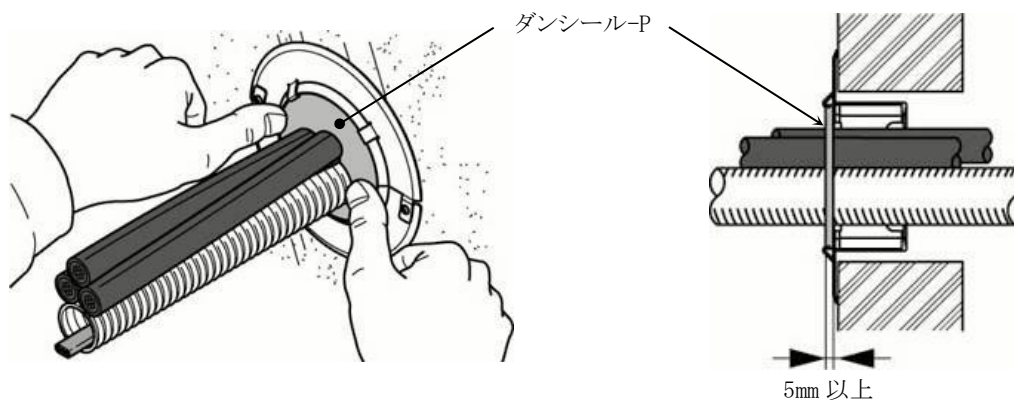
(3) 鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの固定

鋼製化粧蓋のねじ穴 2 箇所、付属の固定ねじを電動ドライバーなどを用いて固定してください。
※ 鉄筋コンクリート壁の場合、あらかじめ $\phi 3.4\text{mm}$ のドリルで深さ約 48mm の下穴をあけておいてください。



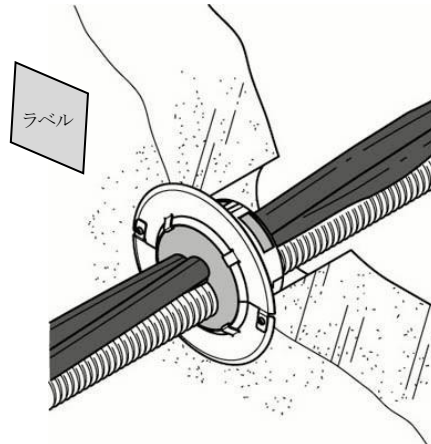
(4) ダンシール-P の充てん

樹脂スリーブと貫通物の間にダンシール-Pを厚さ 5mm 以上、隙間無く充てんして下さい。

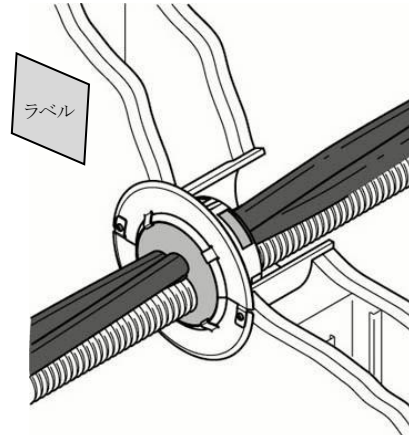


(5) 施工完了

ダンシール-P 充てん状況を確認し、表面に凹凸がある場合、ならして仕上げてください。
付属の工法表示ラベルを開口の見える位置に貼り付けてください。



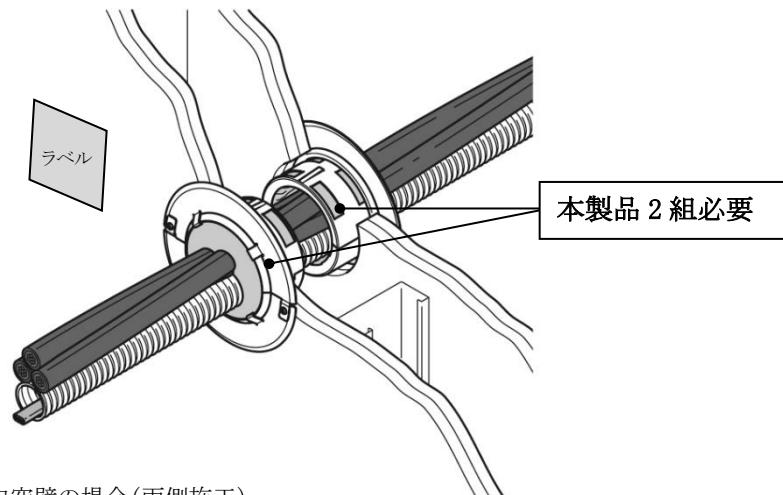
鉄筋コンクリート・ALC壁の場合(片側施工)
(ケーブル、合成樹脂製可とう電線管混在貫通)



中空壁の場合(片側施工)
(ケーブル、合成樹脂製可とう電線管混在貫通)

両側施工の場合

中空壁で、開口補強枠が設置されていない(設置しない)場合、両側施工となります。この場合、前記「片側施工の場合」の手順(1)～(5)を、壁の両側から施工してください。
なお両側施工の場合、本製品は2組必要となりますのでご注意ください。



中空壁の場合(両側施工)
(ケーブル、合成樹脂製可とう電線管混在貫通)

5.2 プチロクワイド・床貫通部

(1) 施工前の確認

開口が認定条件に適合した開口寸法通りであることを確認してください。

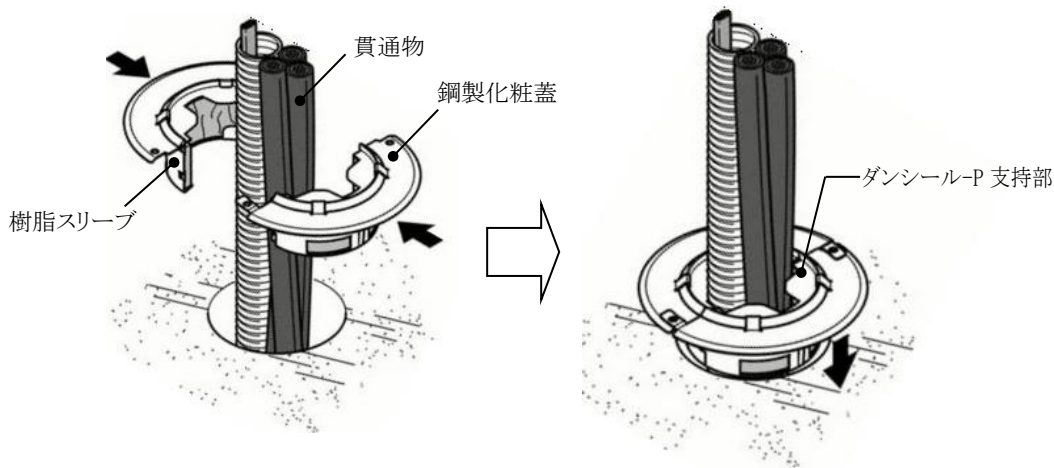
PW-75 の場合: ϕ 75mm
 PW-100 の場合: ϕ 100mm
 PW-125 の場合: ϕ 125mm
 PW-150 の場合: ϕ 150mm



(2) 鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの設置

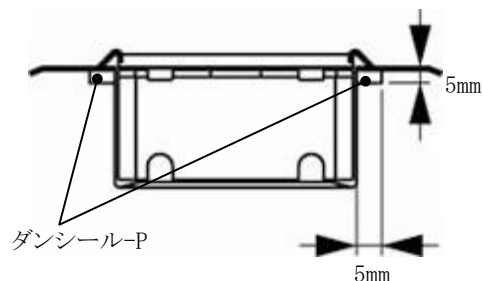
鋼製化粧蓋付樹脂スリーブを、貫通物に挟んではめ合わせ、開口へ挿入してください。

このとき、貫通物量に応じて、樹脂スリーブ内側のダンシール-P 支持部をペンチなどで取り除いてください。
 (ダンシール-P 支持部の除去方法については 5.1 項 「(2)鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの設置」 を参照ください。)



なお、下表の開口寸法に設置する場合は、必ず右下図に示す位置にダンシール-P を取り付けてください。

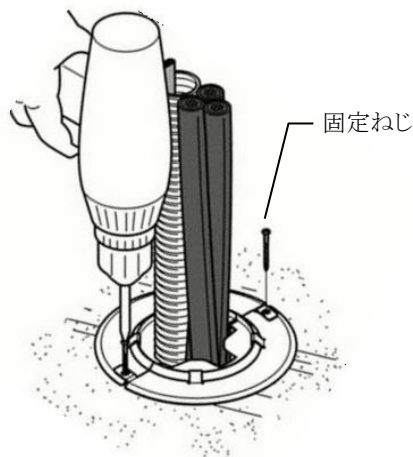
品番	設置開口径((mm))
PW-75	77.5~80
PW-100	105~110
PW-125	128~131
PW-150	154~159



鋼製化粧蓋付樹脂スリーブ断面図

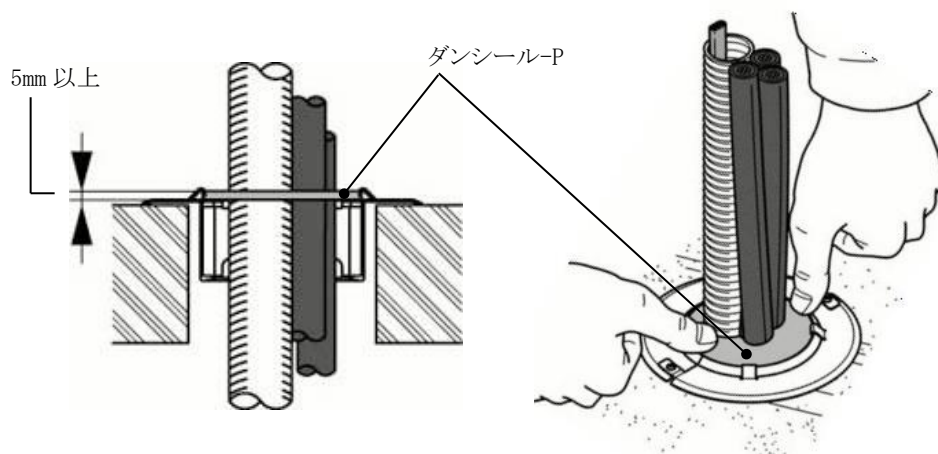
(3) 鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの固定

鋼製化粧蓋のねじ穴 2 箇所、付属の固定ねじを電動ドライバーなどを用いて固定してください。
※ 鉄筋コンクリート床の場合、あらかじめ $\phi 3.4\text{mm}$ のドリルで深さ約 48mm の下穴をあけておいてください。



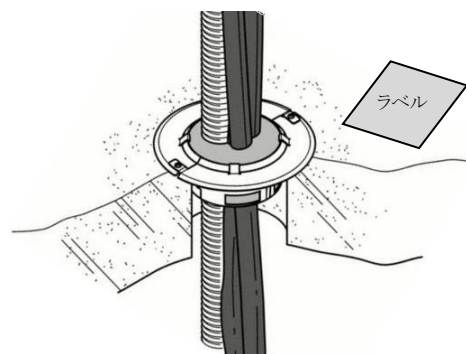
(4) ダンシール-P の充てん

樹脂スリーブと貫通物の間にダンシール-P を厚さ 5mm 以上隙間無く充てんしてください。



(5) 施工完了

ダンシール-P の充てん状況を確認し、表面に凹凸がある場合ならして仕上げて下さい。付属の工法表示ラベルを開口の見える位置に貼り付けてください。



鉄筋コンクリート・ALC床の場合 (床上施工)
(ケーブル、合成樹脂製可とう電線管混在貫通)

5.3 プチロクワイド・鋼製電線管(壁)貫通部

(1) 施工前の確認

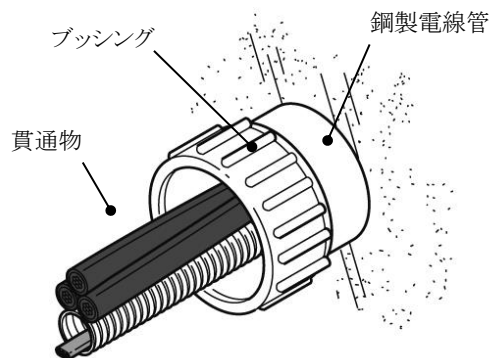
本キット品を2組ご用意下さい。また、認定条件に適合した鋼製電線管であることを確認してください。

●注意事項①

鋼製電線管は、全長 300mm 以上必要となります。
また、ケーブル保護のため必ずブッシングを取り付けてください(ブッシングは別途ご購入ください)。

●注意事項②

鋼製電線管内の貫通物敷設は、内線規程に基づいて行ってください。尚、单相のケーブルを1線(心)のみ収めること等は、電磁的不均衡により発熱の原因となりますので絶対に行わないでください。



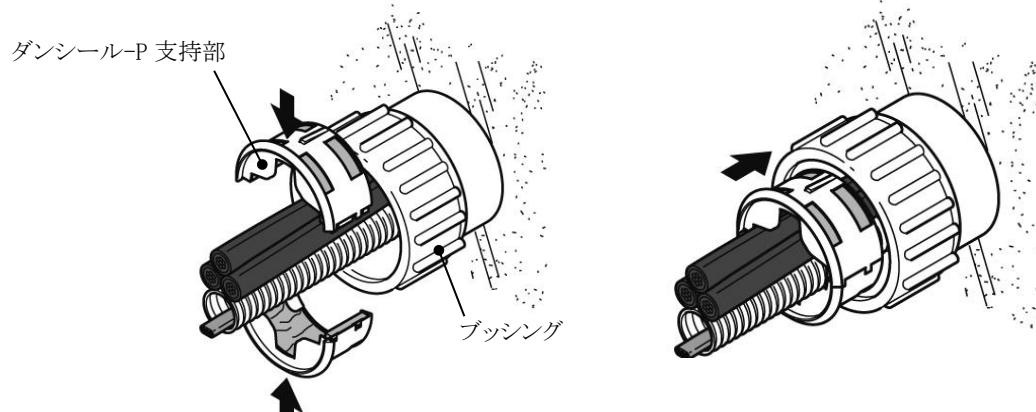
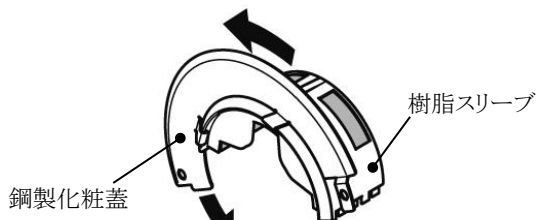
(2) 樹脂スリーブの設置

下図の通り「鋼製化粧蓋を取り外した樹脂スリーブ」に貫通物を挟んではめ合わせ、電線管へ挿入してください。ガタ付きがある場合、アルミテープなどを巻き付けてしっかりと固定してください。このとき、貫通物の量に応じて、樹脂スリーブ内側のダンシールP 支持部をペンチなどで取り除いてください。

(ダンシールP 支持部の除去方法については 5.1 項「(2)鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの設置」を参照ください。)

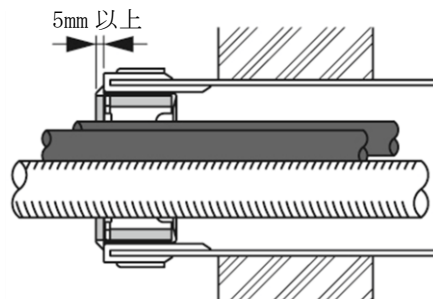
鋼製化粧蓋の取り外し方

鋼製化粧蓋表面に書かれている「ハズス」の矢印方向に鋼製化粧蓋を回して取り外します。



(3) ダンシール-P の充填

樹脂スリーブと貫通物の間に、ダンシール-Pを厚さ5mm以上、隙間無く充てんしてください。



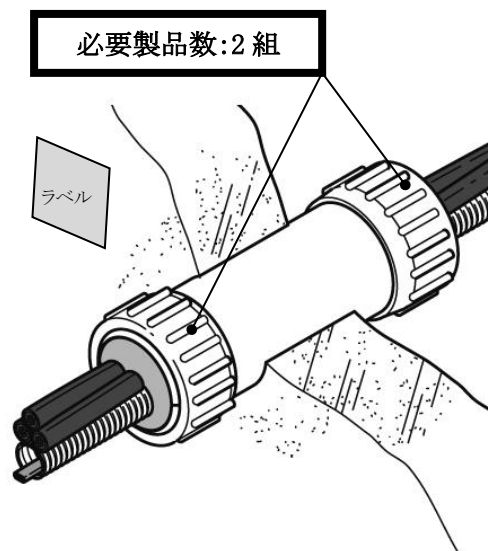
(4) 反対側の施工

壁の裏側も手順(2)～(3)と同様に施工してください。

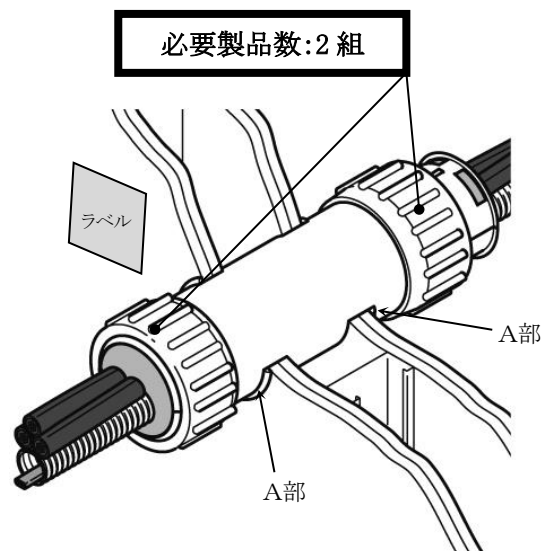
(5) 施工完了

ダンシール-Pの充てん状況を確認し、表面に凹凸がある場合、ならして仕上げてください。

また、開口部と鋼製電線管の間に隙間(右下図A部)がある場合、中空壁用目地材(せっこうボード用目地材などの無機充填材)を用い、隙間が無くなるように埋めてください。付属の工法表示ラベルを開口の見える位置に貼り付けてください。



鋼製電線管貫通 鉄筋コンクリート・ALC 壁の場合
(ケーブル、合成樹脂製可とう電線管混在貫通)



鋼製電線管貫通 中空壁の場合
(ケーブル、合成樹脂製可とう電線管混在貫通)

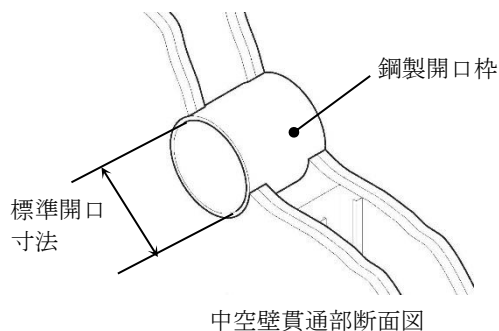
5.4 プチロクワイド消防キット・共住区画壁貫通部

(1) 施工前の確認

開口が施工条件に適合した開口寸法通りであることを確認してください。特に、中空壁に施工する場合には、必ず図のように鋼製開口枠(板厚 $\geq 0.25\text{mm}$)を設置してください。

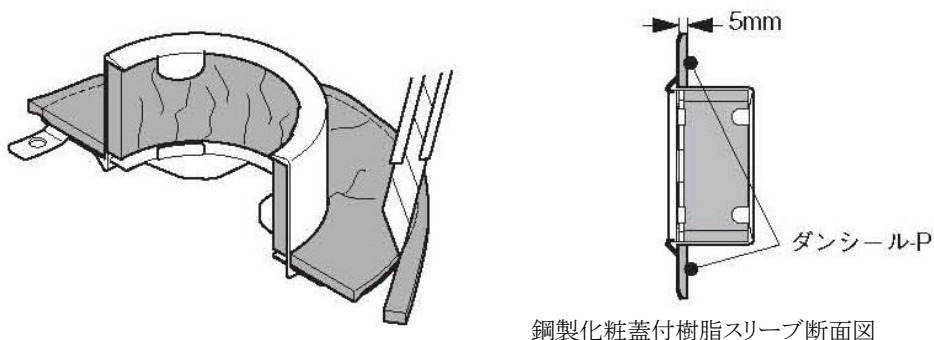
※PWS-125、150 は消防評定範囲外のため施工できません。

品番	標準開口寸法 (mm)
PWS-75	$\phi 75$
PWS-100	$\phi 100$

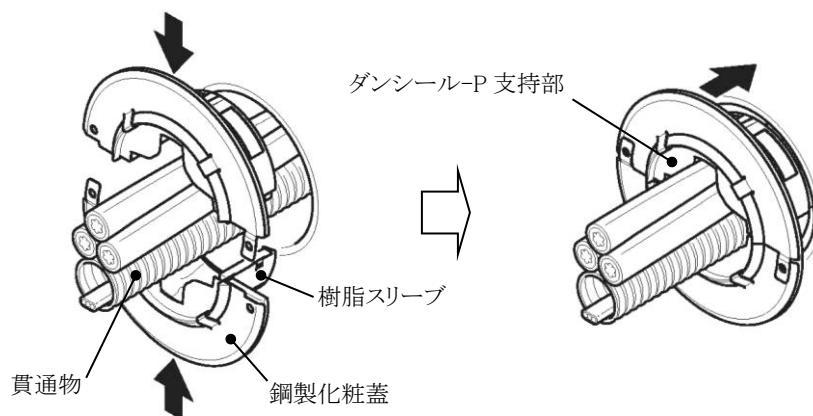


(2) 鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの設置

鋼製化粧蓋の裏面にダンシール-Pを貼り付け、不要な部分をカッターなどで切断します。



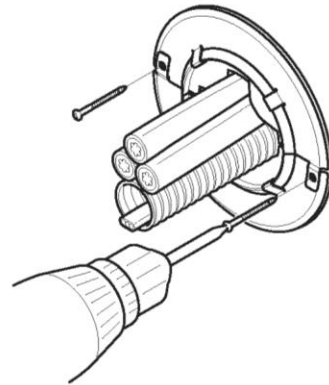
鋼製化粧蓋付樹脂スリーブに、貫通物を挟んではめ合わせ、開口へ挿入してください。
このとき、貫通物量に応じて、樹脂スリーブ内側のダンシール-P支持部をペンチなどで取り除いて下さい。
(ダンシール-P支持部の除去方法については5.1項「(2)鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの設置」を参照ください。)



(3) 鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの固定

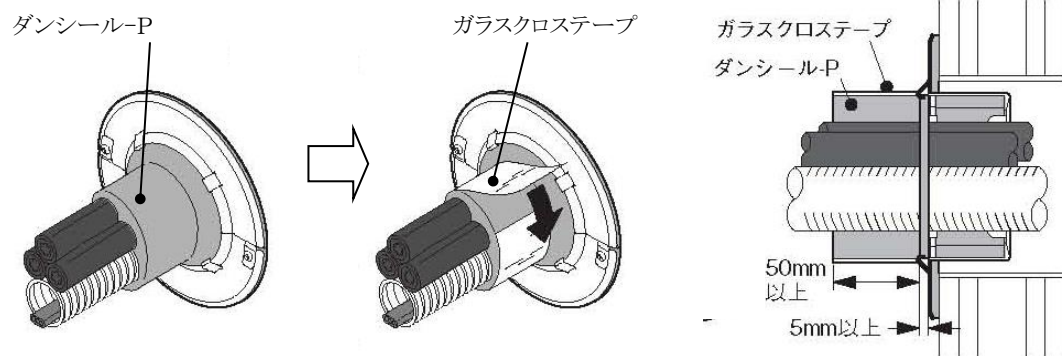
鋼製化粧蓋のねじ穴 2 箇所、付属の固定ねじを電動ドライバーなどを用いて固定してください。

※ 鉄筋コンクリート壁の場合、あらかじめφ3.4mmのドリルで深さ約48mmの下穴をあけておいてください。



(4) ダンシール-Pの充てん

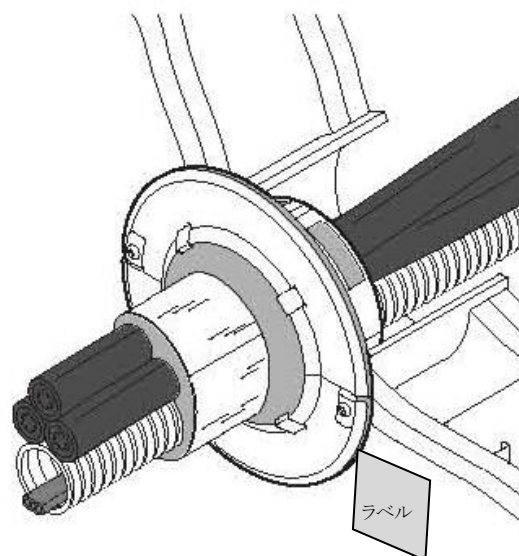
貫通物と開口の隙間に付属のダンシール-Pを5mm充てんし、更に貫通物周囲にも幅50mm以上巻き付けます。巻き付けた部分には、落下防止として付属のガラスクロステープを1周巻き付けます。



(5) 施工完了

最後に、ダンシール-P 充てん状況を確認し、表面に凹凸がある場合、ならして仕上げてください。

付属の工法表示ラベルを開口の見える位置に貼り付けてください。

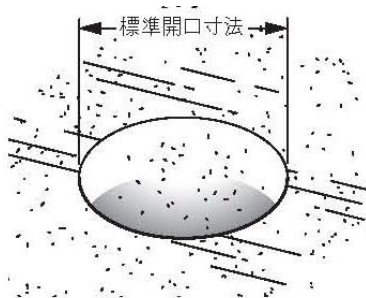


5.5 プチロクワイド消防キット・共住区画床貫通部

(1) 施工前の確認

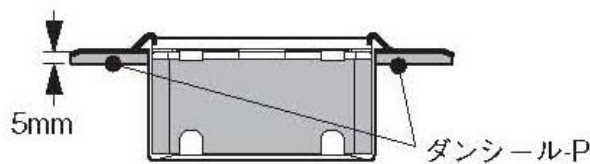
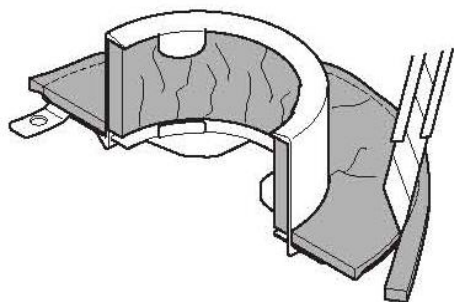
開口が施工条件に適合した開口寸法通りであることを確認してください。

品番	標準開口寸法(mm)
PWS-75	φ 75
PWS-100	φ 100
PWS-125	φ 125
PWS-150	φ 150



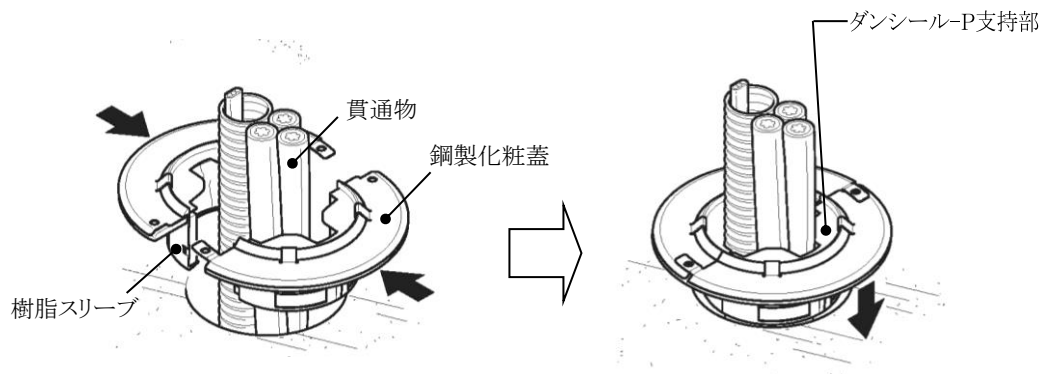
(2) 鋼製化粧蓋付スリーブの設置

鋼製化粧蓋の裏面にダンシール-P を貼り付け、不要な部分はカッターなどで切断します。



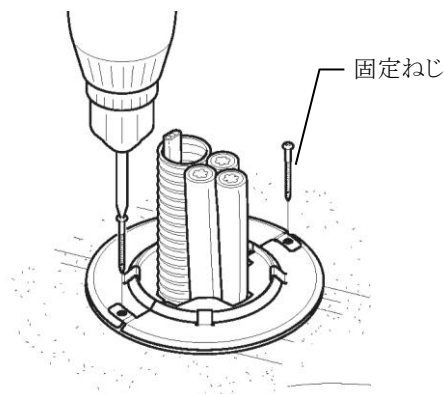
鋼製化粧蓋付樹脂スリーブ断面図

鋼製化粧蓋付樹脂スリーブに、貫通物を挟んではめ合わせ、開口へ挿入してください。
このとき、貫通物量に応じて、樹脂スリーブ内側のダンシール-P 支持部をペンチなどで取り除いてください。
(ダンシール-P 支持部の除去方法については5.1 項「(2)鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの設置」を参照ください。)



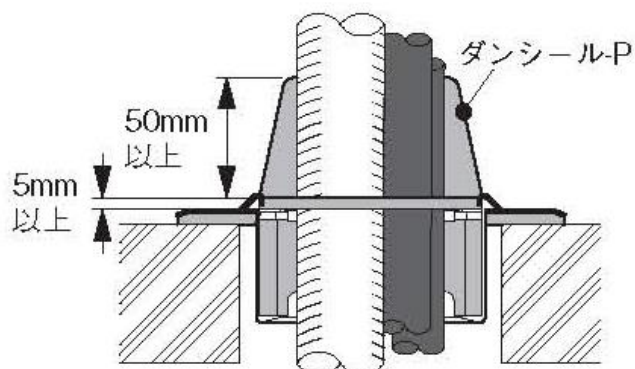
(3) 鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの固定

鋼製化粧蓋のねじ穴 2 箇所、付属の固定ねじを電動ドライバーなどを用いて固定してください。
※ 鉄筋コンクリート床の場合、あらかじめ $\phi 3.4\text{mm}$ のドリルで深さ約 48mm の下穴をあけておいてください。



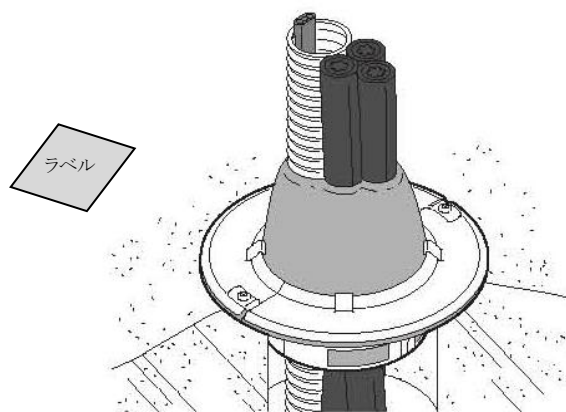
(4) ダンシール-Pの充てん

貫通物周囲に付属のダンシール-P(幅 50mm)を巻き付け、樹脂スリーブ端部から高さ 50mm 以上隙間無く充てんします。



(5) 施工完了

最後に、ダンシール-Pの充てん状況を確認し、表面に凹凸がある場合、ならして仕上げてください。





6. 注意事項




- ・ 取扱説明書やカタログ・施工要領書などに記載された認定条件をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ・ 施工にあたっては、保護手袋および保護めがね等を必ず着用してください。
- ・ 樹脂スリーブおよび鋼製化粧蓋の尖った部分などでのケガに注意してください。
- ・ 防水、撥水の必要がある箇所については、別途防水・撥水処理を行ってください。
- ・ ケーブルの支持機能はありませんので、貫通部の前後で別途、確実に行ってください。支持固定が不十分の場合、シートのずれ・脱落・隙間が生じる恐れがあります。
- ・ 作業スペース上、開口部は最低 150mm の離隔距離を取ってください。コアドリルを用いる際、仕上がり穴径が類似するサイズ(PW-75 ではφ 75mm、PW-100 ではφ 100mm、PW-125 ではφ 125mm、PW-150 ではφ 150mm)を選定してください。
- ・ ダンシール-Pの所要量は、貫通物が最小の場合を想定し、不足の生じないように設定しております。万一、不足が生じた場合には別途ダンシール-Pをお買い求めください。
- ・ 固定ねじの紛失にご注意ください。紛失した場合には同等のものを別途お買い求めください。
- ・ 合成樹脂製可とう電線管内に通線する電線・ケーブル等については、内線規程に従ってください。
- ・ 開口径φ 50mm 以下の防火措置には、「プチロク」をご使用ください。
- ・ 認定工法外となるため、開口内にダンシール-P 以外のパテを絶対に充てんしないでください。
- ・ 共住区画施工後は、(一財)日本消防設備安全センターの規定により、消防評価プレートを貼り付ける必要があります。








7. 安全に関するご注意

ご使用前に必ず、この「安全に関するご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆ 図記号の意味は、次のとおりになっています。

 注意 :	気をつける必要があることを表しています。
 禁止 :	してはいけないことを表しています。
 指示 :	しなければならないことを表しています。

 警告		床大開口部施工後は踏み抜きに注意してください。貫通部防火措置部の上に乗ったり重量物を置かないでください。
		子供・幼児の手の届くところに材料部材を置かないでください。
		単心の電力ケーブルが貫通する場合は周囲に鉄系の金具を配置しないでください。
		最大開口面積または直径以下で施工してください。
		ケーブル等の貫通物種類および貫通物占積率は取扱説明書および認定書・評定書に従ってください。
		取扱説明書また認定書・評定書に従って施工してください。
		貫通部防火措置部の仕上がり時は隙間のできないように施工してください。
		液体状のものを扱う場合は保護めがねを着用してください。
		繊維状または粉状のものを扱う場合はマスクおよび保護めがねを着用してください。
 注意		耐熱シール材等のパテを扱う際は保護具を着用してください。
		金具を扱う場合は保護具を着用してください。
		特殊な環境下で使用される場合は事前に相談ください。
		材料は貫通部以外の部分に使用しないでください。
		防水性が要求される場合は別途施工してください。
		ケーブルまたは配管類の支持機能はありません。別途固定支持してください。
		施工完了後は工法表示ラベルを表示してください。再施工時も工法表示ラベルを更新してください。

8. 免責事項

- (1) 防火区画貫通部防火措置が認定又は評定通りの耐火性能を得るためには、施工品質が大変重要になります。これらを施工するにあたり、認定・評定条件、施工方法をよくご理解いただき、施工者及び建物管理者の責任において施工及び維持管理していただきますようお願い致します。
- (2) 以下のような場合において問題が生じた場合、当社として責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ① 認定・評定条件以外の施工を行った場合(個別の取り決めに依る仕様は除く)
 - ② 弊社指定以外の材料を使用した場合
 - ③ 本来の使用目的以外に使用した場合
 - ④ 再通線、改修工事などにおいて、不適切な施工により問題が生じた場合
 - ⑤ 「安全に関するご注意」を守らなかった場合
 - ⑥ 適切な維持・管理が行われていない場合
 - ⑦ 通常の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗など)や経年劣化、またはこれらに伴うほこりによる仕上がりの変化の場合
 - ⑧ 周辺環境に起因する場合(例えば、酸性・アルカリ性のガス、異常な高温・低温・多湿、結露など)
 - ⑨ 躯体の変形など、製品以外の不具合に起因する場合
 - ⑩ 犬、猫、鳥、鼠、蛇などの小動物・昆虫やツルや根などの植物に起因する場合
 - ⑪ 犯罪、いたずらなどの不法な行為に起因する場合
 - ⑫ 戦争・紛争・天災その他の不可抗力による場合(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、など)
 - ⑬ 実用化されている技術では予測不可能な現象、またはこれが原因による場合

9. その他

本施工要領書記載の内容は、製品改良等のため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上

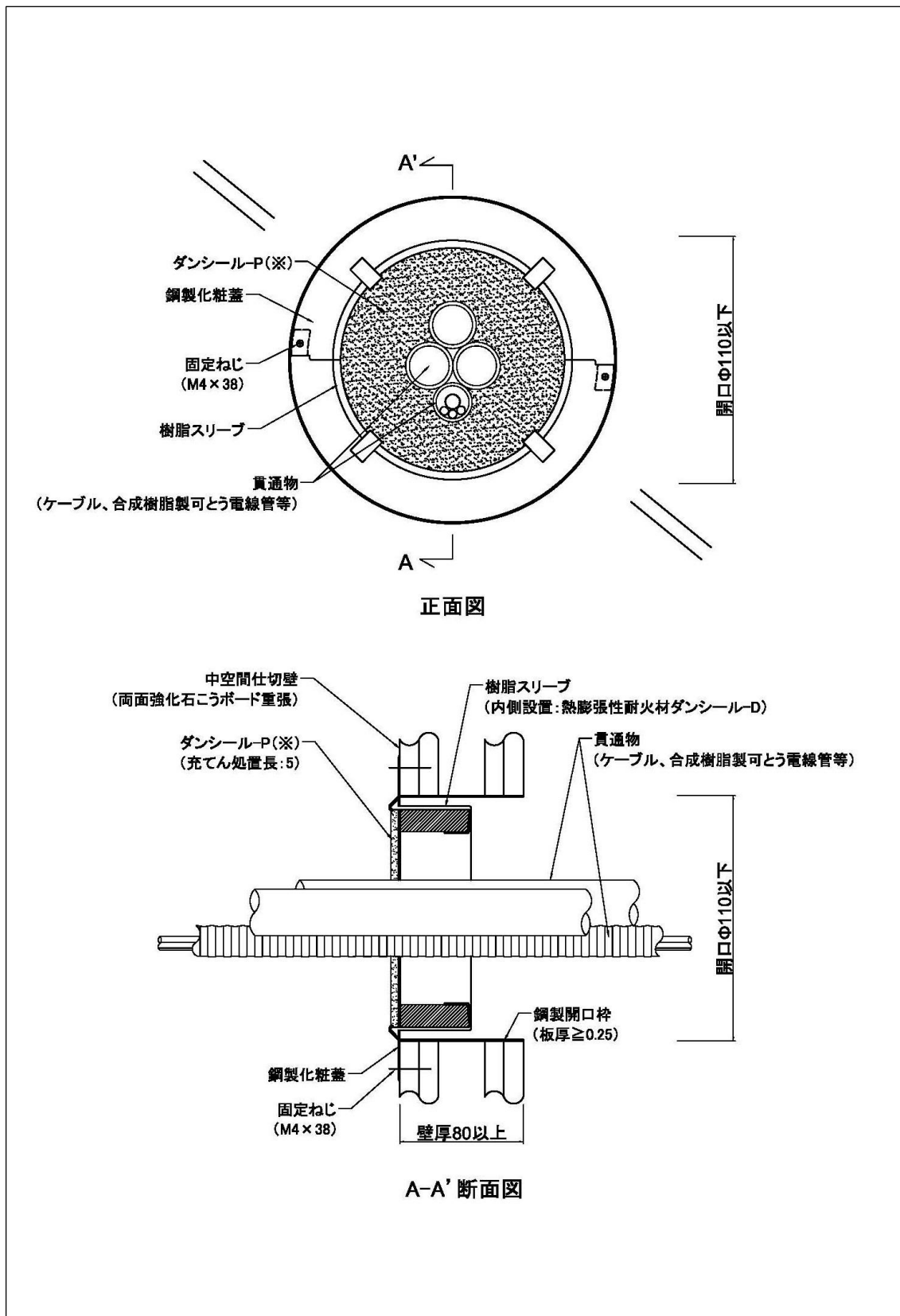


図-1 プチロクワイド 標準施工図(中空壁 片側施工)

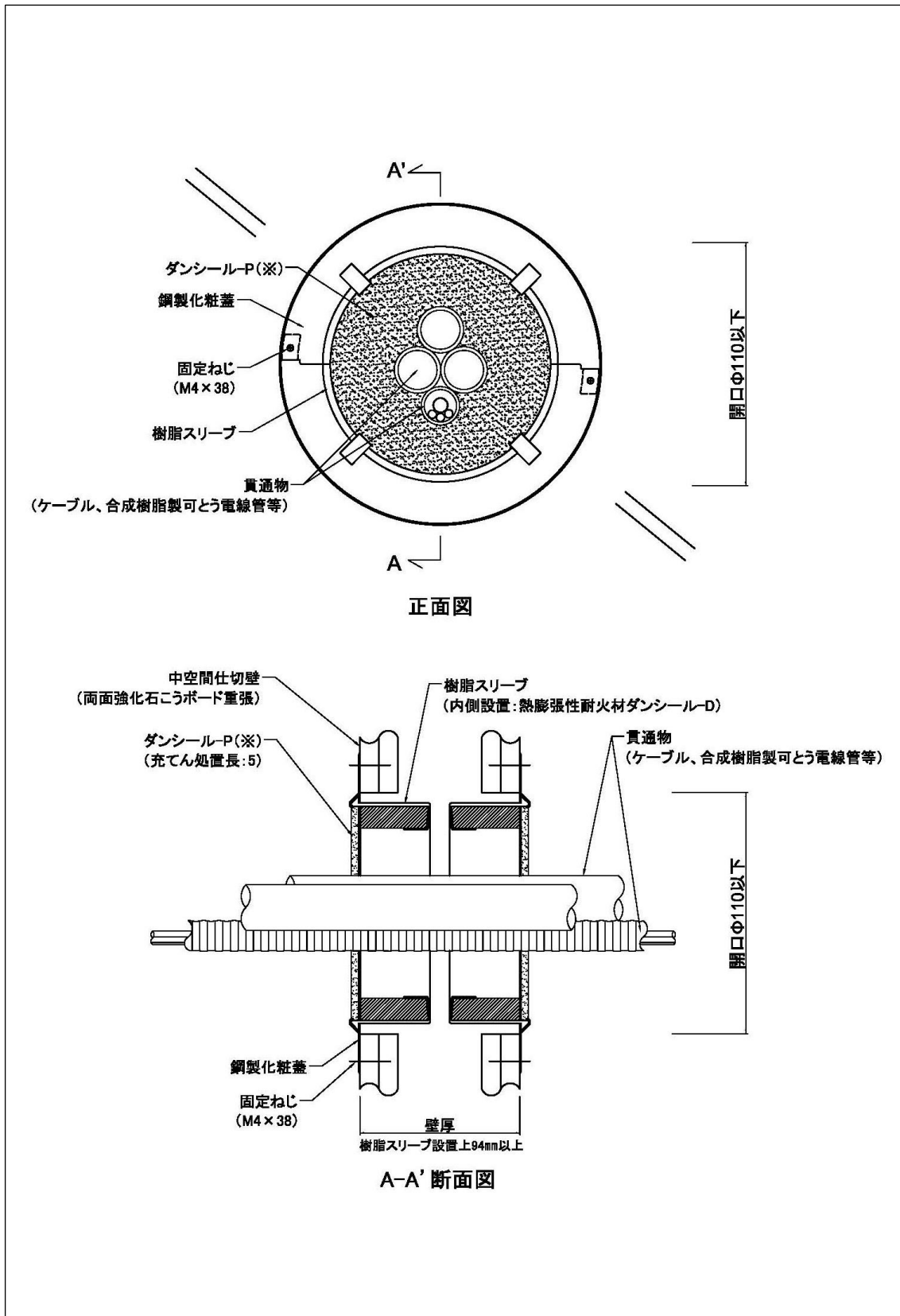


図-2 プチロクワイド 標準施工図(中空壁 両側施工)

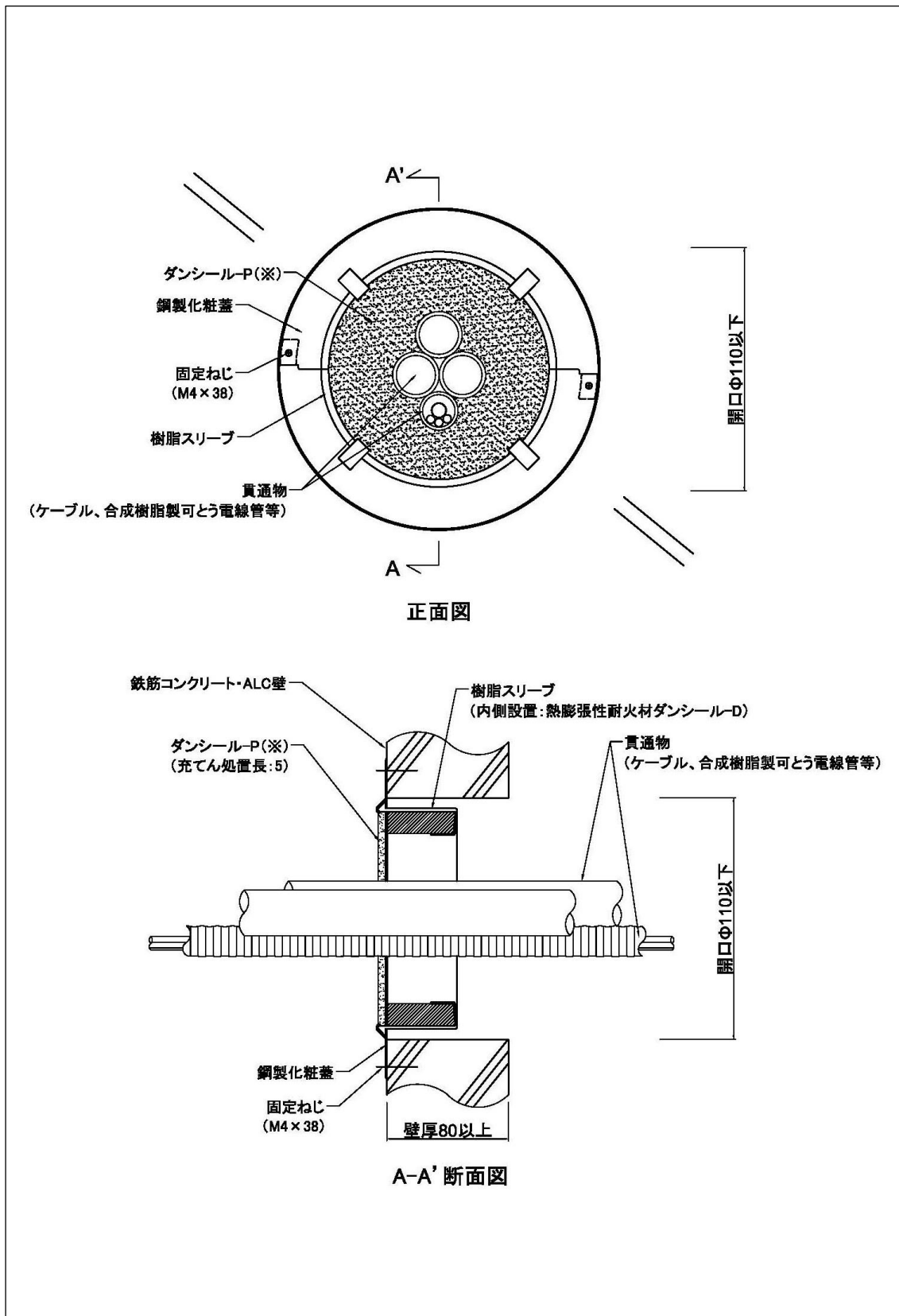


図-3 プチロクワイド 標準施工図(鉄筋コンクリート・ALC 壁 片側施工)

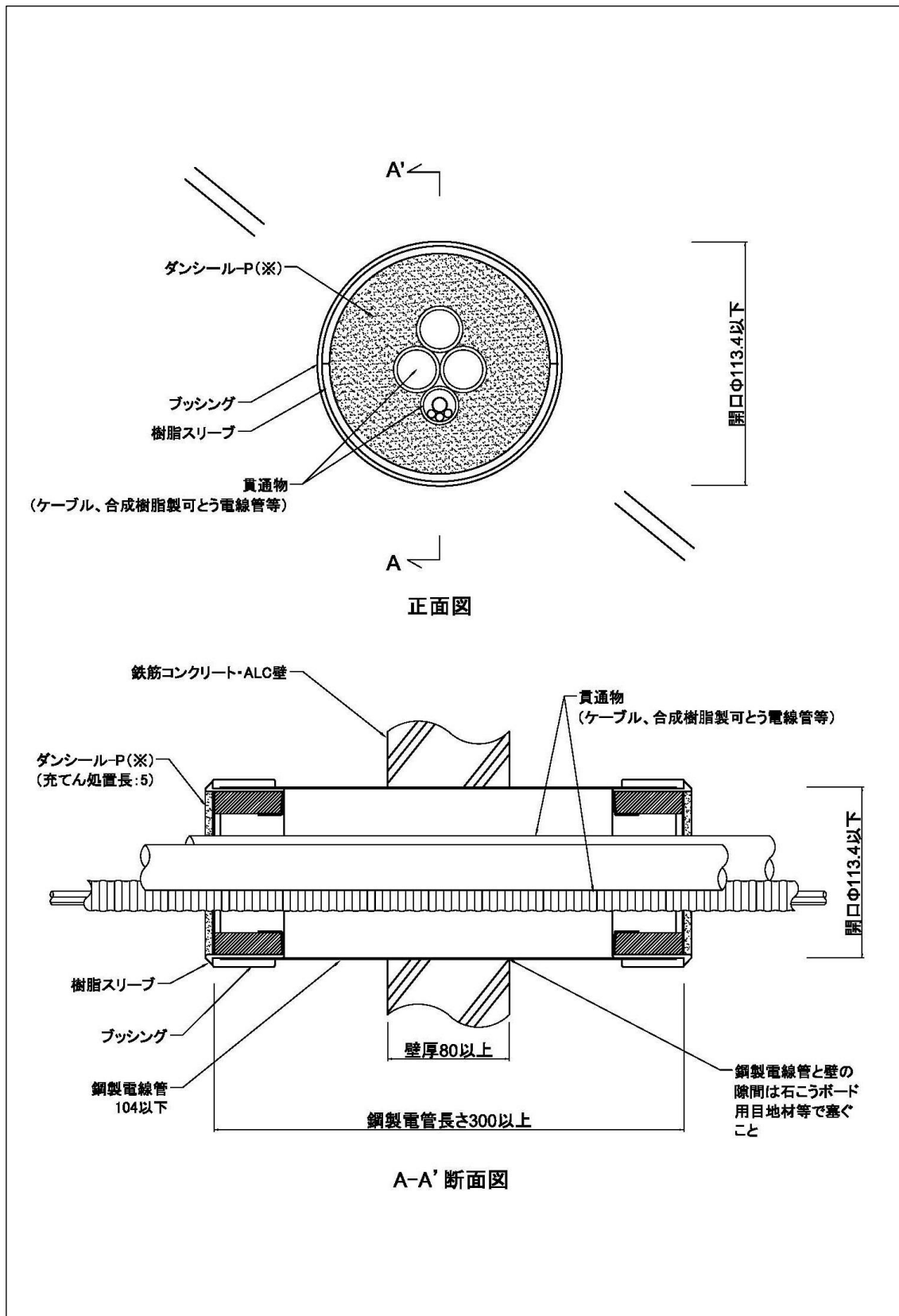


図-4 プチロクワイド 標準施工図(鋼製電線管貫通、鉄筋コンクリート・ALC 壁)

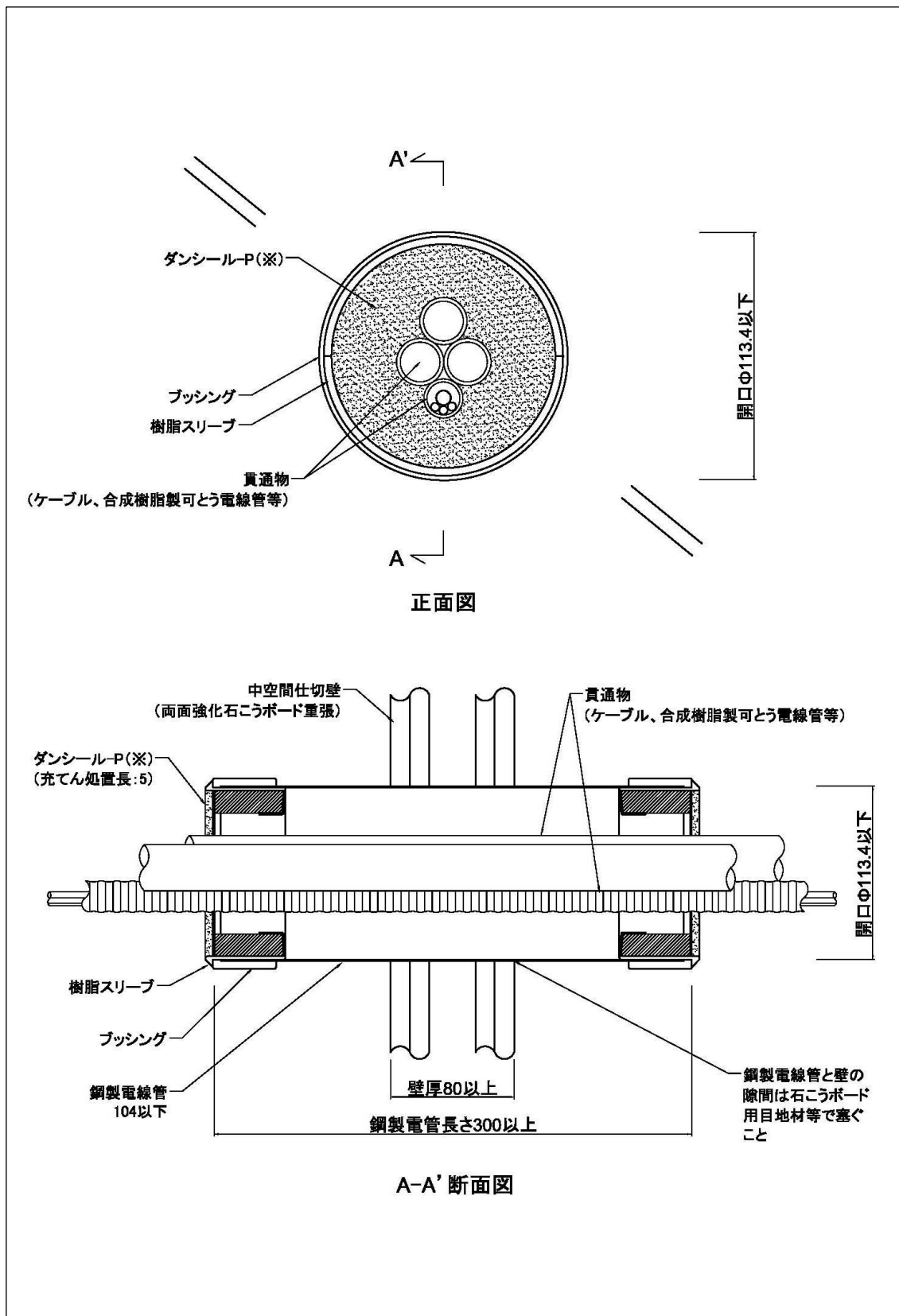


図-5 プチロクワイド 標準施工図(鋼製電線管貫通、中空壁)

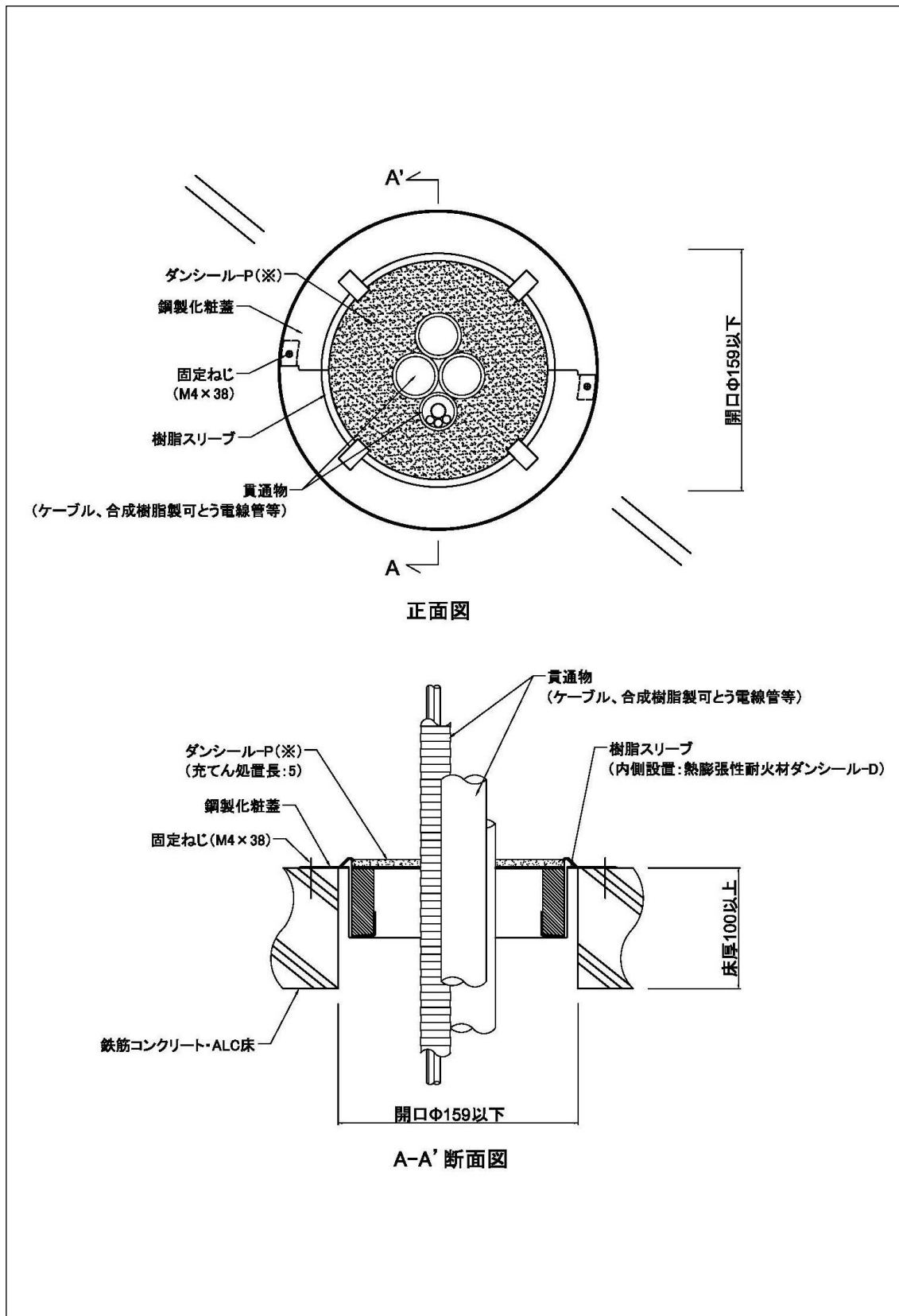


図-6 プチロクワイド 標準施工図(鉄筋コンクリート・ALC床)

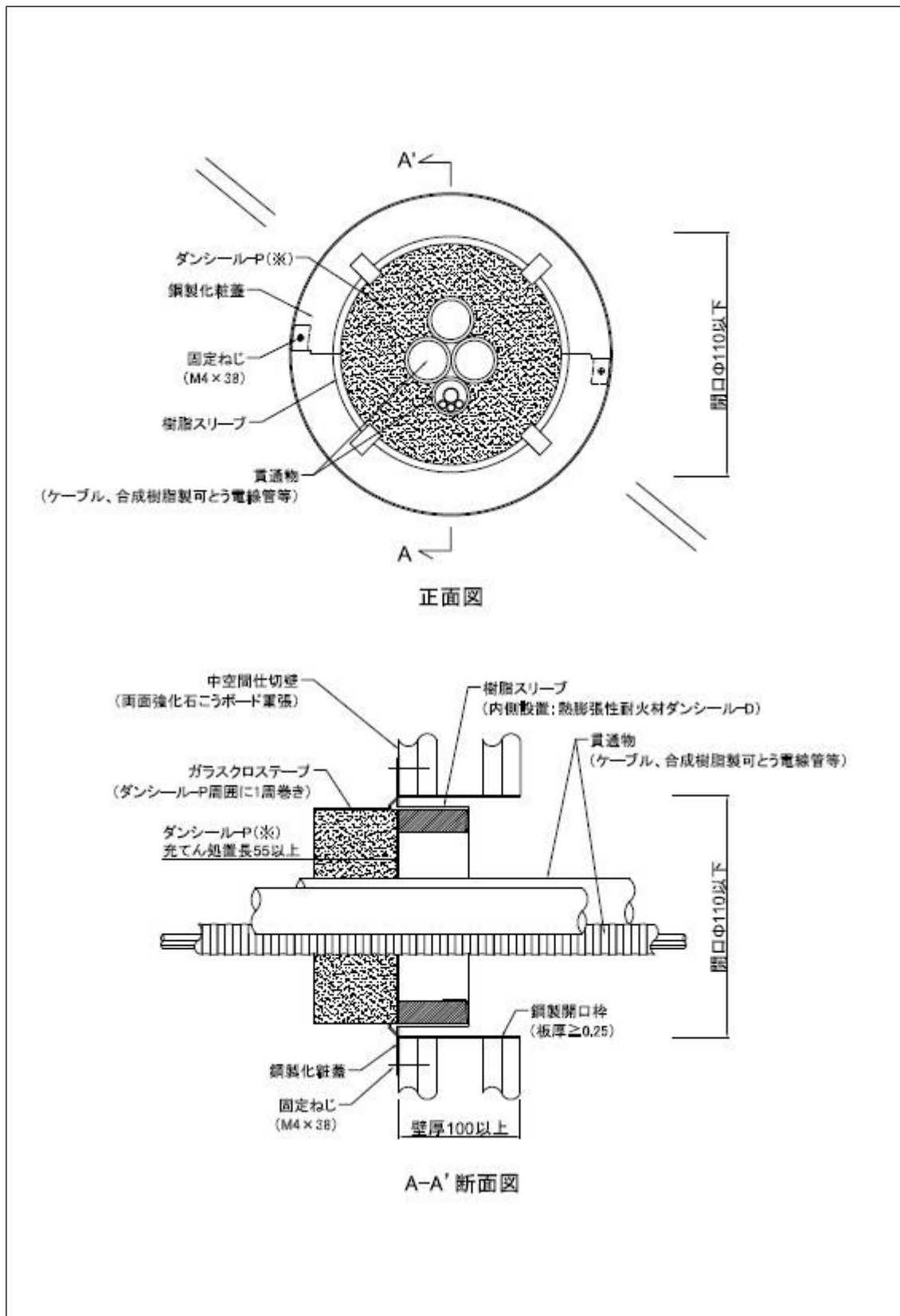


図-7 プチロクワイド消防キット 標準施工図(中空壁)

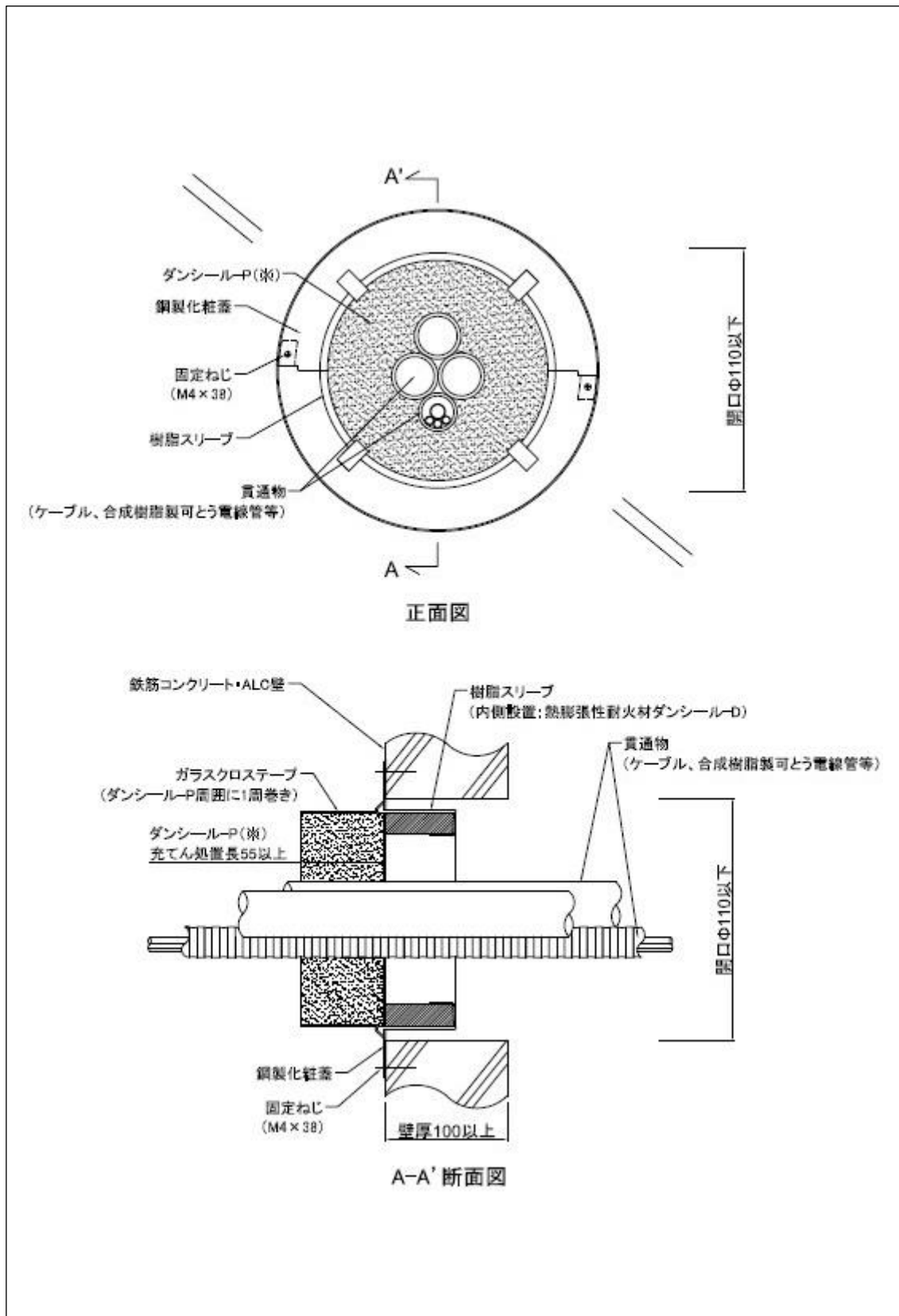


図-8 プチロクワイド消防キット 標準施工図(鉄筋コンクリート・ALC 壁)

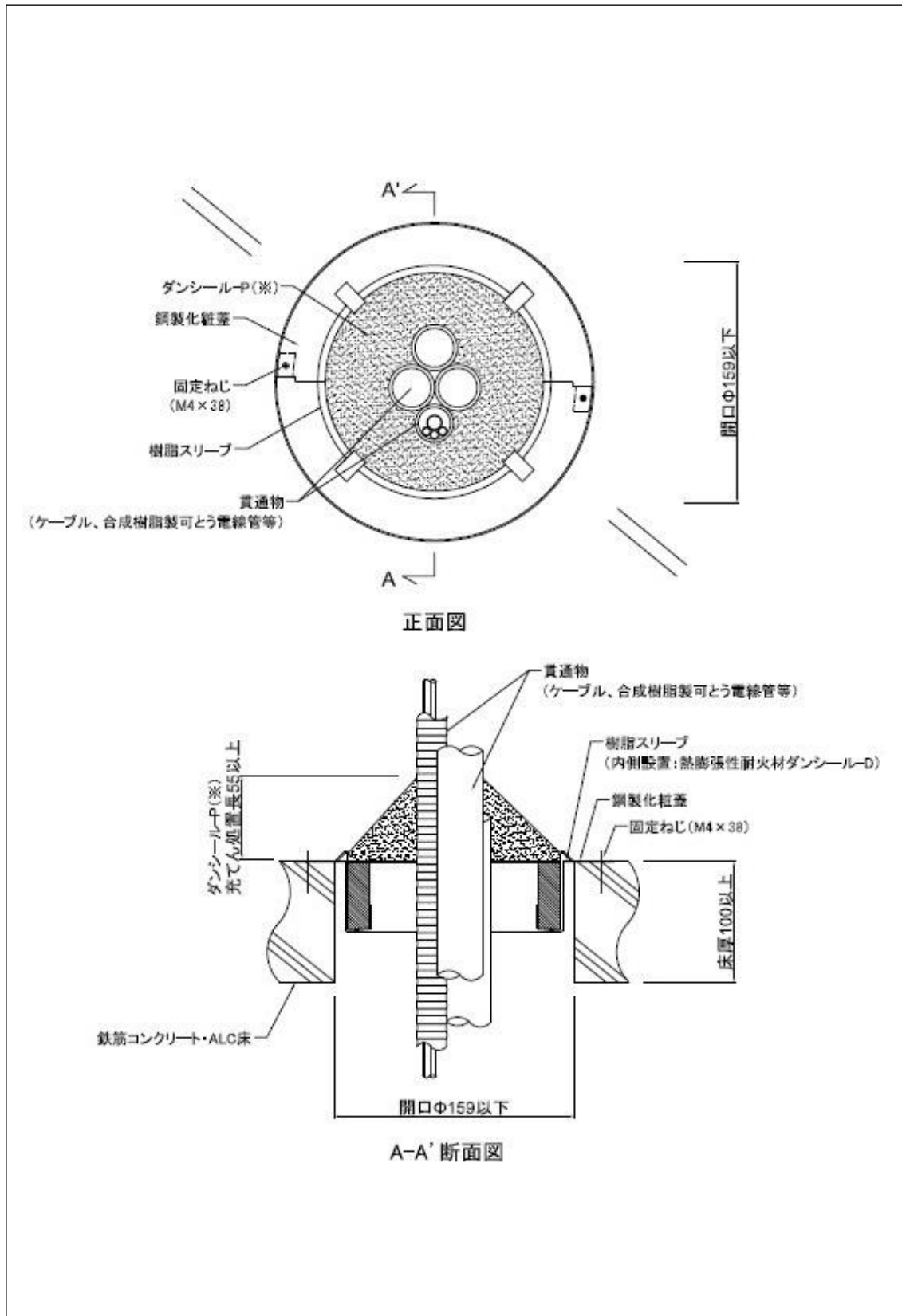


図-9 プチロクワイド消防キット 標準施工図(鉄筋コンクリート・ALC床)

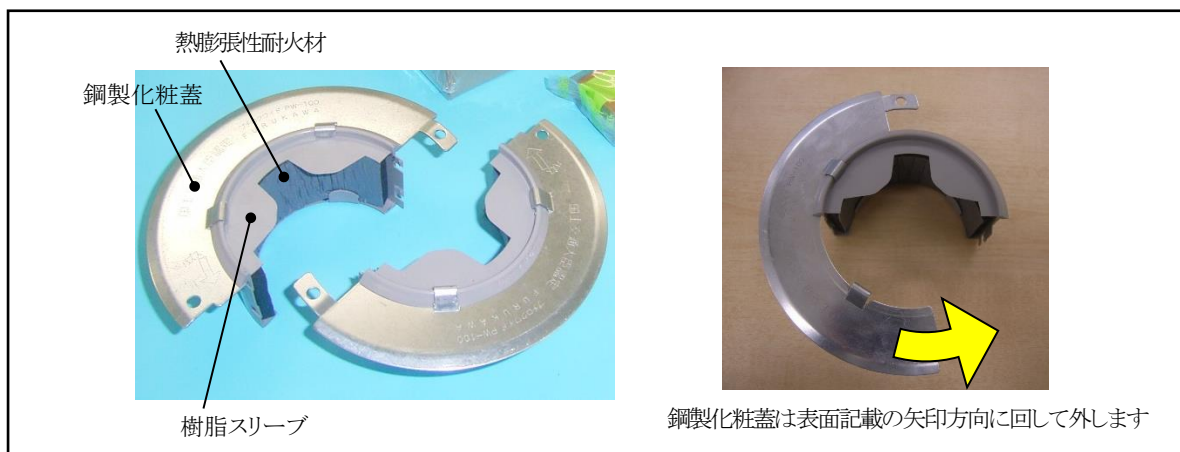


図-10 鋼製化粧蓋付樹脂スリーブの構成

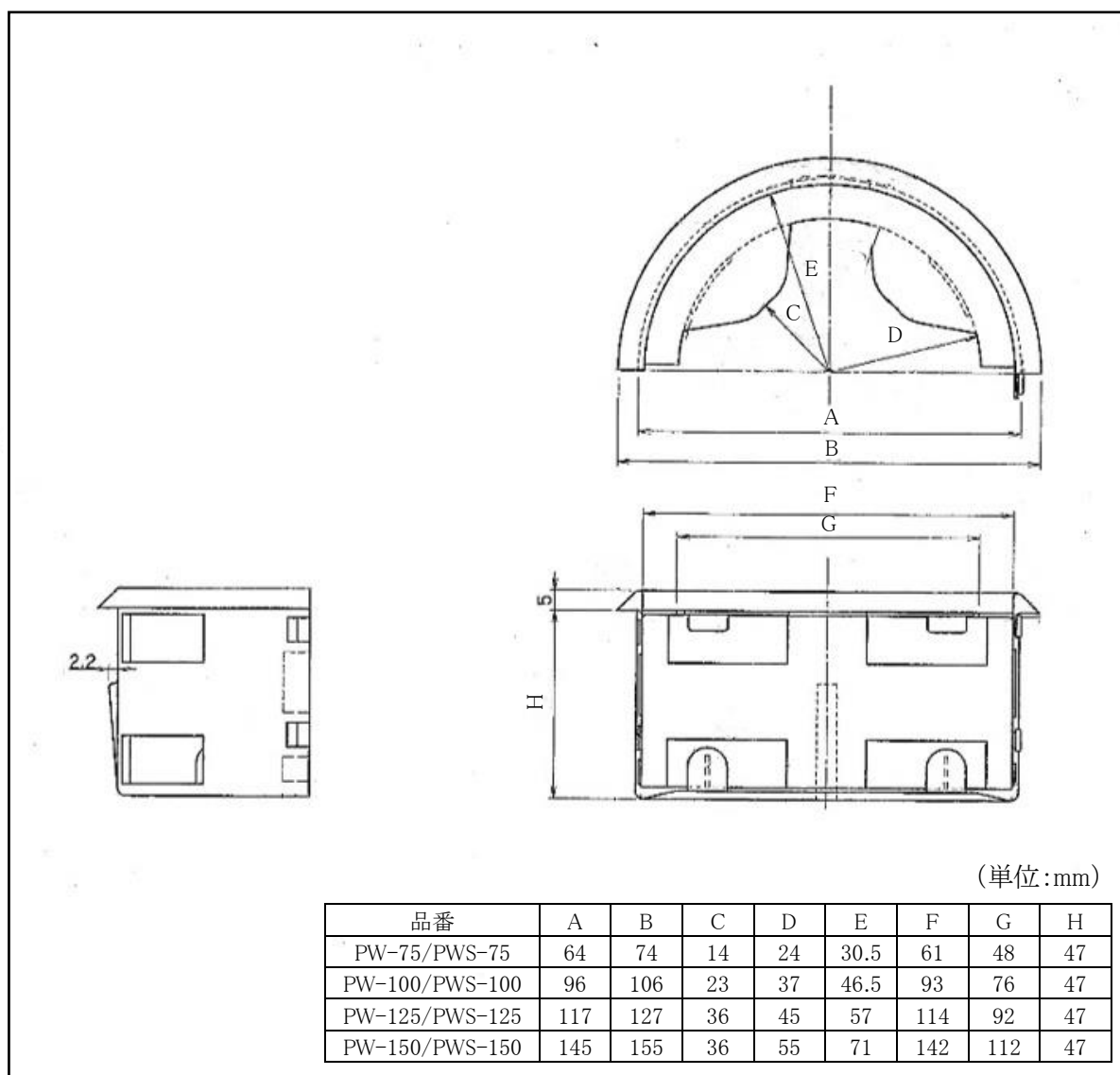


図-11 樹脂スリーブ形状・寸法

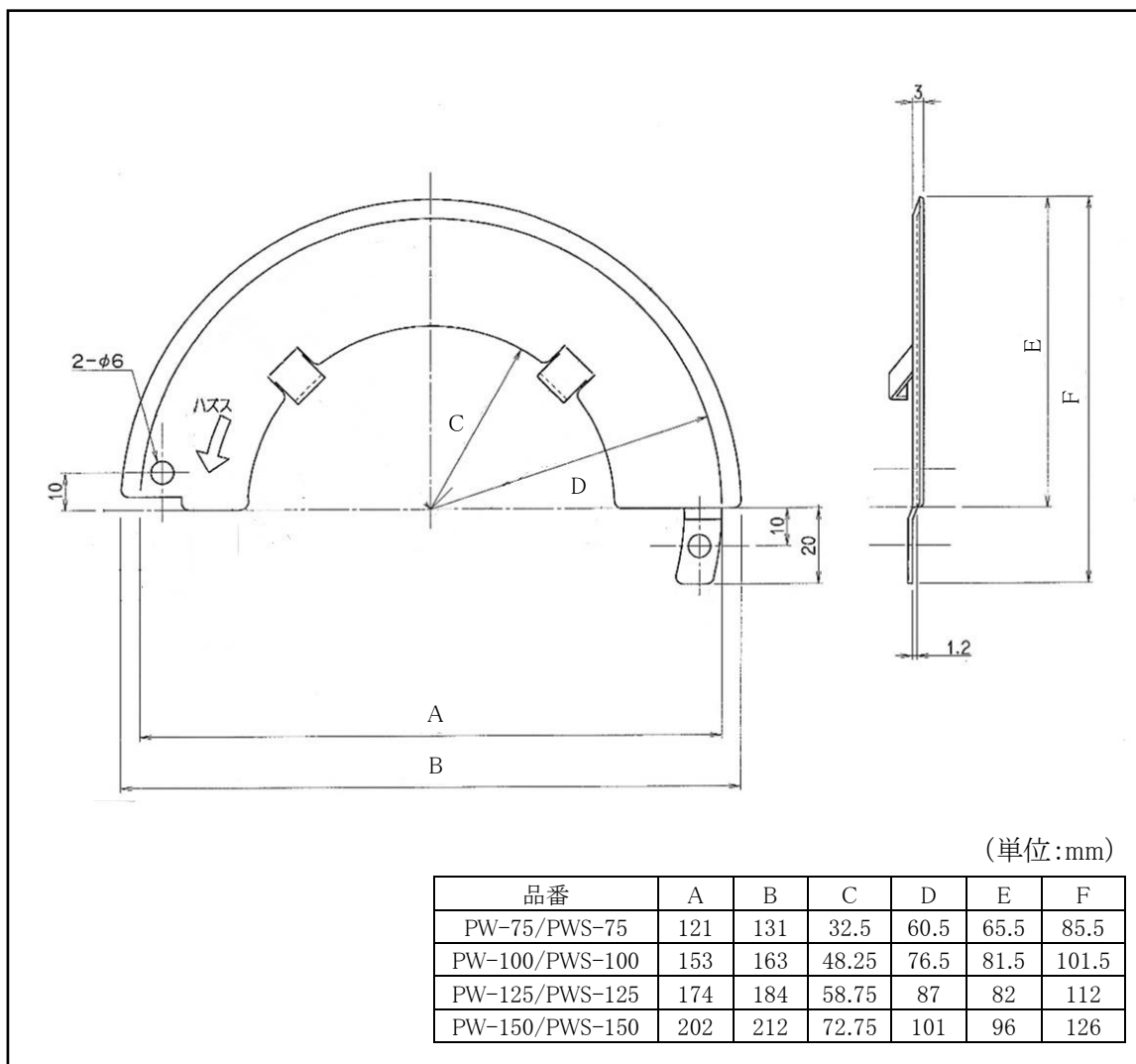


図-12 鋼製化粧蓋形状・寸法